



青年海外協力隊ボランティアとして 堀井大輔さんがパラオ共和国へ (12月22日)

青年海外協力隊のボランティアとして、1月から2年間パラオ共和国で活動することが決まった堀井大輔さんが、派遣前の表敬訪問として、市役所を訪れました。

堀井さんは、パラオ共和国コロール州への派遣となり、世界遺産であるロックアイランドでウミガメや野鳥などの生態調査を行い、収集したデータを基にした報告書の作成方法を現地の人へ指導される予定です。

「研究者としてではなく、現地の人と協力しながら、配属先が求めていることに共に取り組んでいきたいです」と意気込みを語る堀井さん。堀井さんのパラオでの活躍が楽しみです。



太平洋戦争の遺品、 73年ぶりに遺族のもとへ (12月22日)

太平洋戦争の激戦地パプアニューギニアで戦死した旧日本陸軍大尉、高森八郎さんが隊長を務めた部隊の遺品が見つかり、八郎さんの兄の孫、高森慶司さんに引き渡されました。

遺品は「高森部隊」と記された銅製のプレートで、隊の自転車に吊り下げられていたもの。平成28年7月、広島県の南海支隊戦友遺族会福山支部長の大田祐介さんがパプアニューギニアを訪問した際に日本に持ち帰り、滋賀県遺族会などの協力で、米原市内に住む遺族の慶司さんを探し当てました。

遺品を受け取った慶司さんは「遺骨もなかったのに、まさに奇跡。このプレートを通して、戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えていきたい」と述べました。



▲大田祐介さん(写真右)からプレートを受け取る遺族の高森慶司さん(写真左)

防火・防災へ誓い新たに 米原市消防出初式 (1月8日)

平成29年米原市消防出初式が市役所米原庁舎と米原公民館で行われ、市内の消防団員ら約350人が参加しました。これは、市民の防火意識と消防関係者の士気を高めることを目的に毎年開催されているものです。

式典では、殉職団員等に黙とうがささげられた後、長年の勤続や功労をたたえ、221人への表彰が行われました。被表彰者から謝辞が述べられるなど、団員のみなさんは年頭の決意を新たにしていました。

また、式典の後には、団員や消防車両による行進のほか、一斉放水が披露され、きれいな水のアーチを描いていました。



編集・発行/米原市役所 広報秘書課
〒521-0801 滋賀県米原市下町三丁目3番地
☎0749(06)9007 / FAX 0749(06)5195
Eメール koho@city.maibara.lg.jp
公社ホームページ http://www.city.maibara.lg.jp/

スマホで広報「まいばら」を読もう

スマートフォンやタブレットで、全国自治体の広報誌が読めるアプリ「マチイロ」で、広報「まいばら」を読むことが出来ます。



マチイロ

無料アプリ「マチイロ」を、
App Storeまたは
Google Playから
ダウンロード

